

9月の経済指標発表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
9/2 4-6月期法人企業統計(8:50) 8月自動車販売(14:00) 8月軽自動車販売(14:00) ※(欧・独・仏)9月製造業PMI(確) (英)8月製造業PMI	3 8月マネタリーベース(8:50) 7月毎月勤労統計(10:30) 10年利付国債 (米)8月ISM製造業景気指数 (米)7月建設支出 (豪州)金融政策委員会	4 金融政策決定会合(～5日) (米)ページブック (米)7月貿易収支 (米)7月自動車販売台数 ※(欧・独・仏・英)8月サービス業PMI(確) (欧)4-6月期GDP(確) (欧)7月小売売上高 (豪州)4-6月期GDP	5 日銀総裁定例記者会見 (米)7月製造業受注 (米)8月ISM非製造業景気指数 (欧)ECB理事会 (独)7月製造業受注 (英)OIE金融政策決定会合 (韓国)4-6月期GDP(確) (メキシコ)金融政策委員会	6 7月景気動向指数(14:00) 9月金融経済月報(14:00) 7月家計消費状況調査(14:00) (米)8月雇用統計 (独)7月鉱工業生産 (独)7月貿易収支 (仏)7月貿易収支 ※(仏)7月鉱工業生産 (英)7月鉱工業生産 (英)7月貿易収支 (メキシコ)金融政策委員会
9 4-6月期GDP2次速報(8:50) 7月国際収支(8:50) 8月貸出・預金動向(8:50) 7月特定サービス産業動態統計調査(13:30) 8月消費動向調査(14:00) 8月景気ウォッチャー調査 (米)7月消費者信用残高 ※(ドイツ)4-6月期GDP(速)	10 8月マネーストック(8:50) 金融政策決定会合議事要旨(8月7-8日分) (8:50) 7月第3次産業活動指数(8:50) 30年利付国債 (ドイツ)4-6月期GDP	11 8月企業物価(8:50) 7-9月期法人企業景気予測調査(8:50) (8:50) (米)7月卸売在庫 (独)8月消費者物価(確) (英)8月失業率 ※(台湾)金融政策委員会	12 7月機械受注統計(8:50) 7月商業販売統計・確(13:30) 5年利付国債 (米)8月輸入物価 (米)8月財政収支 (欧)ECB月報 (韓)7月鉱工業生産 (韓)金融政策委員会 (インドネシア)金融政策委員会 (ニュージーランド)金融政策委員会	13 7月鉱工業指数・確(13:30) ※9月月例経済報告 (米)8月小売売上高 (米)8月生産者物価 (米)7月企業在庫 (米)8月シフト大消費者セグメント(速) (欧)7月貿易収支
16 (米)9月NY連銀指数 (米)8月鉱工業生産 (欧)8月消費者物価(確)	17 7月建設総合統計(14:00) (米)8月消費者物価 (米)9月NAHB住宅市場指数 (独)9月ZEW景況指数 (英)8月消費者物価 (豪州)金融政策委員会議事録 (ドイツ)金融政策委員会	18 7月毎月勤労統計・確(10:30) ※平成25年基準地価 20年利付国債 (米)FOMC (米)8月住宅着工件数 (欧)7月建設支出 (英)金融政策委員会議事録	19 9月ロイター短観(8:30) 8月貿易統計(8:50) 4-6月期資金循環(8:50) 7月全産業活動指数(13:30) 7月景気動向指数改訂(14:00) ※8月全国百貨店売上高(14:30) (米)8月中古住宅販売件数 (米)9月フィア連銀指数 (米)8月景気先行指数 (英)8月小売売上高 (ニュージーランド)4-6月期GDP (南ア)金融政策委員会	20 ※8月チェーンストア販売統計(14:00) 8月コピニエンスストア統計(16:00) (独)9月Ifo景況感指数
23 ※(欧・独・仏)9月製造業PMI(速) ※(欧・独・仏)9月サービス業PMI(速) ※(ベトナム)7-9月期GDP	24 (米)9月消費者信頼感指数 (米)6月S&Pケースラー住宅価格指数	25 8月企業向けサービス価格指数(8:50) (米)8月耐久財受注 (米)8月新築住宅販売件数 (仏)9月INSEE企業景況感	26 (米)4-6月期GDP(確) (欧)8月M3 (英)4-6月期GDP(確)	27 8月消費者物価・全(8:30) 9月消費者物価・都(8:30) 2年投入・産出物価指数(8:50) 2年利付国債 (米)8月個人所得・消費 (米)8月シフト大消費者セグメント(確) (欧)9月経済信頼感 (独)9月消費者物価(速) (仏)4-6月期GDP(確) ※(英)9月ネーションワイド住宅価格
30 8月鉱工業指数(8:50) 8月商業販売統計(8:50) 8月住宅着工統計(14:00) (米)9月シカゴPMI (欧)9月消費者物価(速) ※(欧・独・仏・英)9月製造業PMI(確)	10/1 8月家計調査(8:30) 8月労働力調査(8:30) 8月一般職業紹介状況(8:30) 9月日銀短観(8:50) 8月毎月勤労統計(10:30) 9月自動車販売(14:00) 9月軽自動車販売(14:00) 10年利付国債 (米)9月ISM製造業景気指数 (米)8月建設支出 (米)9月自動車販売台数 (欧)8月失業率 (独)9月失業率 (豪州)金融政策委員会	2 9月短観業種別計数及び調査全容(8:50) 9月マネタリーベース(8:50) (欧)ECB理事会	3 金融政策決定会合(～4日) (米)8月製造業受注 (米)9月ISM非製造業指数 ※(欧・独・仏・英)9月サービス業PMI(確) (欧)8月小売売上高	4 ※8月景気動向指数(14:00) 日銀総裁定例記者会見 (米)9月雇用統計

(備考) 各種情報ベンダー等にて作成。※印は期日が未定のもの。各指標の発表時期は変更される可能性があります。

編集後記

いよいよアベノミクス3本目の矢である成長戦略の具体的中身が問われる局面となった。この「成長戦略」という言葉、単純に英訳すると「growth strategy」だが、よく言われているように欧米のメディア、投資家達は「structural reform」を使うことが多い。つまり、海外の目は日本の何がどう変わるのかを注目して見ているということだろう。

日本の資本市場における海外投資家の存在感は益々大きくなっている。特に株式市場ではフロー・ストック両面で既に主役の座にある。「成長戦略」の実行は海外投資家のためではないが、彼等の期待に応えられないと手痛いしっぺ返しを受ける可能性があることは意識しておく必要がある。(H. S)